

大津市立大平保育園

日時：2021年10月21日（木）13:30-17:15

2021年10月26日（火）9:00-16:30

場所：滋賀県大津市大平2丁目33-22

大津市立大平保育園は住宅街の中にあり、近くに裏山があります。今回は、その裏山の森林の中で研修をおこないました。1日目に参加者が講師の島川さんによる保育を体験し、その後2チームに分かれてプログラムを作成しました。2日目は、作成したプログラムを大平保育園の園児に実施し、午後から振り返りをしました。

参加者がつくったプログラムは、森林の中にある葉・枝・木の実を使ったものが提案されました。木々に囲まれ、ひんやりと肌寒さも感じながら、自然とたくさん触れ合った一日となりました。

講座、プログラムづくり、作成したプログラムの実践とふりかえりをおこないました。

講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

袋に入っているのはなんだろう？

森林に落ちている自然物が入っている袋に、中身を見ないように手を入れて、感触を頼りに同じものを集めてきます。木の実や枝、葉っぱ、木の皮などいろいろなものが入っており、何種類入っているかも知らされません。森林を探検しながら、2人組になって力を合わせて収集します。

最後にみんなで答え合わせ。集めた種類がペアによってバラバラ…全問正解するのはかなり難しいようです。



袋の中をガサガサ…。5秒間で中に入っている自然物の感触を覚えます。

みんなで答え合わせ。「当たった〜！」「え、それが入っていたの？」「これは入ってなかった！？」喜びと驚きの声が飛び交います。



6つのたなびくフラッグを作ろう！

まず保育者が自然物で装飾した旗を見せ、グループごとに旗を作ろうと子どもたちに伝えます。グループごと旗に装飾する自然物は6種類（ギザギザの葉っぱ、つるつるの葉っぱ、木の実、枝、茶色の葉っぱ、木の皮）あり、くじ引きで決めます。グループに1つずつビニール袋を渡して自然物を集め、5分後に旗に貼りつけるよう呼びかけます。その後、完成した旗を見せ合い、子どもたちに感想を聞いたり、保育者の感想を伝えたりします。最後に「同じ物（自然物）でもいろんな形や大きさがある」「自然物は変化すること、今後も変化を見ていこうと伝えます。



グループのみんな
で協力して、自然物を集めます。

相談しながら、真っ白な旗に飾りつけ。



できたよ！
みんな見て〜！

作ってみよう！木のおようふく

まず子どもたちに「①保育者の見える範囲にいること ②時間を伝えるために笛を鳴らすこと ③グループごとに動くこと」という約束を伝えます。その後、葉っぱ・木の実・枝をグループで集めてカゴに入れるよう説明し、同じサイズの物を見つけるよう保育者が見本を示します。木に服の形を描いた画用紙をひもで結び付け、「寒くなってきたから、木にもおようふくを作ってあげよう！」と子どもたちに呼びかけ、集めた自然物を画用紙の服に貼るよう伝えます。装飾が終わったら、グループごとに披露します。出来上がったおようふくは園に持ち帰り、時間の経過による自然物の移り変わりが楽しめるようにします。



約束ごとを守りながら、みんなでおようふくを作ります。

「どこに貼る？」「ここにしよう！」とわいわい話し合いながらおようふくづくり。



うさぎチームのおようふく。色々な形の葉っぱを組み合わせてあり、長い枝がポイントになってきてます！

プログラムを終えてのふりかえり

- 時間の使い方が難しかった
- 形や大きさの違いがあることは伝わったのでは
- 友だちと一緒に探すことを楽しんでいた
- 他のグループの子が探すのを手伝ってくれていた
- 前のグループと少し違う形にできたら良かったかも
- 同じ素材でもグループごと貼り方が違って楽しくももらえてた
- いつも大人しい子もイキイキとしていた
- 作ったものを保護者の方に見てもらおう機会をつくりたい